

国土交通省中部地方整備局との意見交換会

三重県商工会議所連合会

令和4年12月21日（水）、三重県商工会議所連合会（会長：伊藤歳恭）は、国土交通省中部地方整備局との意見交換会を開催しました。

県内12商工会議所の会頭や副会頭、専務理事の25名が出席し、国土交通省からは中部地方整備局の稲田雅裕局長をはじめ担当部長等の10名が参加しました。

伊藤会長は挨拶の中で「道路整備が進むことで、新規企業の立地や観光入込客数の増加など、多くの効果が期待されることから、早期の完成を待ち望んでいる。一方で、大規模な災害にも対応できる計画的な基盤整備に加え、建設後、長期間が経過し、老朽化が進む施設のメンテナンスや更新など、強靱な国土づくりについても、しっかり進めていただきたい。」と述べました。



▲挨拶をする伊藤会長（左）と稲田局長（右）

稲田局長からは「中部地方整備局は、2つのミッションをもっており、1つ目は、地域に安全・安心を提供すること。2つ目は、経済発展基盤や豊かな生活空間を整えていくことであり、各地で進めている防災・減災対策やインフラ整備などに対し、ご理解、ご協力を賜り、お礼申し上げます。」と挨拶がありました。



意見交換会の様子

その後、中部地方整備局から社会資本整備をめぐる最近の動きについて説明があり、各商工会議所からは、道路網整備の促進、港のインフラ整備、海岸整備、河川改修、規制緩和などについて地域の実情を踏まえた要望等を行い、意見交換を行いました。